

AVN 978HDTVmkII

取付説明書

090003-31110700

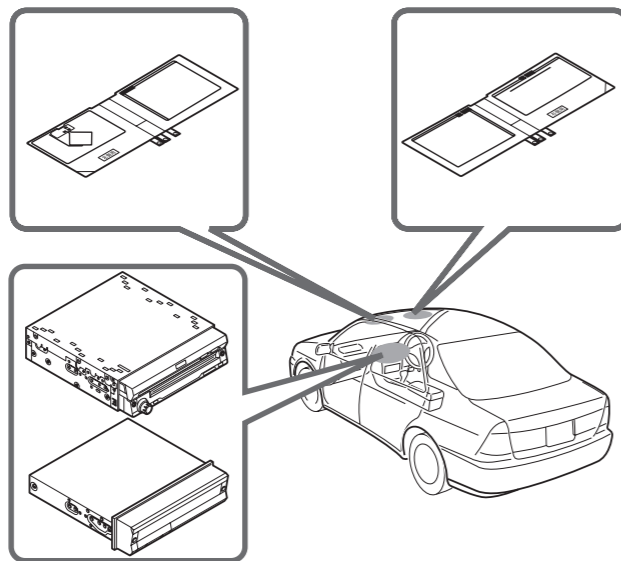
お客さまへのお願い

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店で取り付けをお勧めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書」をよくお読みうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

—販売店様へ—

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



●作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読の上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

- 1) バッテリーの⊖端子を外す
- 2) 接続を確認する (☞接続のしかた)
- 3) フィルムアンテナを取り付ける (☞システム接続例)
- 4) 配線する (☞取付と配線)
- 5) メインユニットを取り付ける
- 6) B-CASカードを挿入する (☞B-CASカードの挿入)
- 7) バッテリーの⊖端子を元に戻す
- 8) 作動確認をする (☞取り付け後の作動確認)

●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

1) メインユニット ×1	2) 接続コード (16P) ×1	3) 接続コード (20P) ×1
4) 接続コード (3P) ×1	5) 皿ねじ (赤色) (M4×6) ×4	6) 平頭ねじ (赤色) (M4×6) ×4
7) 座金一体ねじ (青色) (M4×3) ×4	8) バンドクランプ ×4	9) ハーネス固定テープ ×3
10) ショートコネクタ ×3	11) スタッドボルト (M4, M5) ×1	12) ゴムブッシング ×1

●DTVチューナ関係

13) DTVチューナ ×1	14) 化粧パネル ×1	15) 接続コード (16P) ×1
16) 皿ねじ (赤色) (M4×6) ×4	17) 平頭ねじ (赤色) (M4×6) ×8	18) 化粧ねじ (六角穴付ボルトM2.5×6) ×2
19) クランプ ×3	20) 六角レンチ ×1	21) B-CASカード ×1

●フィルムアンテナ関係

22) フィルムアンテナ (左) ×1	23) フィルムアンテナ (右) ×1	24) GPS・デジタルTVアンテナコード (左外側：緑/白色コネクター) ×1
25) デジタルTVアンテナコード (左内側：黒色コネクター) ×1	26) デジタルTVアンテナコード (右内側：黒色コネクター) ×1	27) デジタルTVアンテナコード (右外側：白色コネクター) ×1
28) クリーナ ×2		

※その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類)

☞アドバイス

トランクルームやシート下などに取り付ける場合は、別売の地上デジタルTVチューナ用延長コードが必要です。

●地上デジタルTVチューナー用延長コード関係

29) 接続延長コード (8P) ×1	30) 接続延長コード (12P) ×1	31) デジタルTVアンテナ延長コード (白色コネクター) ×2
32) デジタルTVアンテナ延長コード (黒色コネクター) ×2	33) カードスロットカバー ×1	34) プチルテープ (42×150) ×1
35) バンドクランプ ×4	36) ハーネス固定テープ ×2	37) 接続コード (20P) ×1

☞アドバイス

DTVチューナーを上段に取り付ける場合は、DTVチューナー前面のVTR入力端子が使用できなくなります。VTR入力を使用する場合は、別売のVTR-IN用拡張配線コードが必要です。

●VTR-IN用拡張配線コード関係

38) 接続コード (20P) ×1		
--------------------	--	--

安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。

🚫：してはいけないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

- ❗本機はDC12V アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。
- ❗取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- 🚫本機を次のような場所には取り付けしないでください。
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

❗車体に穴をあけて取り付けの場合は、注意して作業を行ってください。
車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

❗ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

🚫車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。

🚫本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。

❗ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

❗画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

❗万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いが出るなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

🚫エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしてください。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

🚫電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

❗接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショートにより火災、感電の原因となります。

❗コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

❗必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠️：注意をしなければならないことを表しています。

⚠️車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗取付説明書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

注意

❗本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

🚫雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

🚫しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

🚫直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

🚫本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがしないでください。
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

❗コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗コードの配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

🚫コード類を決して途中で切断しないでください。
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

🚫電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠️コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

🚫本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。

❗本機取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

B-CASカードの挿入

アドバイス

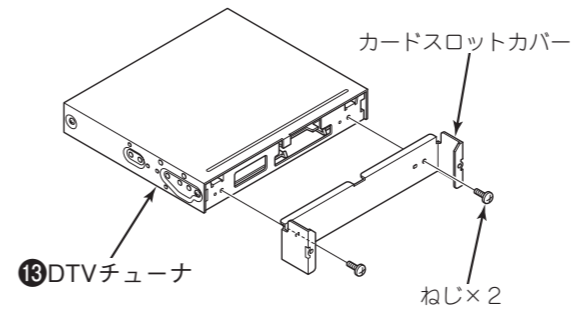
- B-CASカードの取り扱いには、「取扱説明書」をよくお読みのうえ、お客様に確認のち作業を行ってください。
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
(ワンセグ放送は視聴することができます。)
- 「使用許諾契約書」をよくお読みください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- カードの不具合と確認された場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにお問い合わせください。
修理センターなどでカード交換を行なった際、発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

お願い

- B-CASカードには、IC (集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードの動作確認を行ってください。
(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)
- B-CASカードを抜く際は、「ツメ」のロック機構が動かないように一旦カードを上方向に持ち上げてから引き抜いてください。

1 DTVチューナにB-CASカードを差し込む

①カードスロットカバーを取り外す。

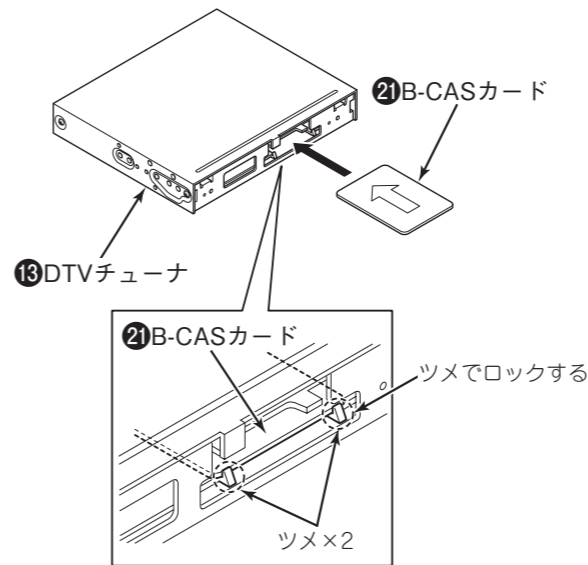


②カードスロットにB-CASカードを矢印表示面を上にして挿入する。

⚠️注意

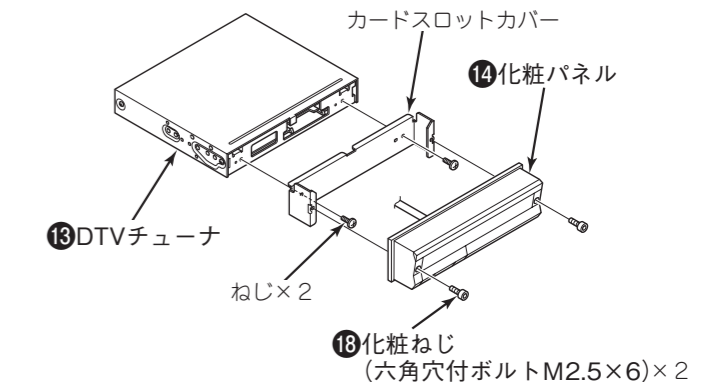
- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

●B-CASカードがツメでロックされ、カードが奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。
しっかり挿入されないと受信不良等の原因となります。

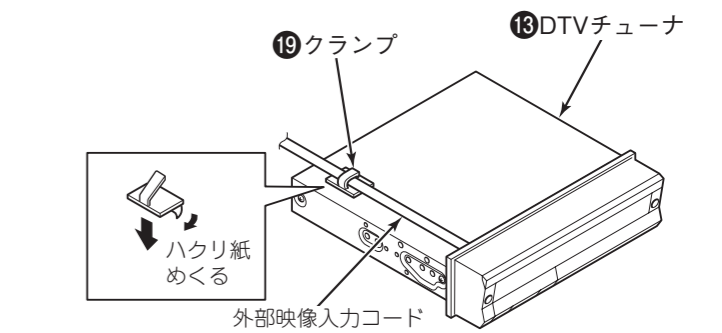


2 DTVチューナにカードスロットカバーを取り付ける

①DTVチューナにカードスロットカバーを戻し、化粧パネルを取り付ける。



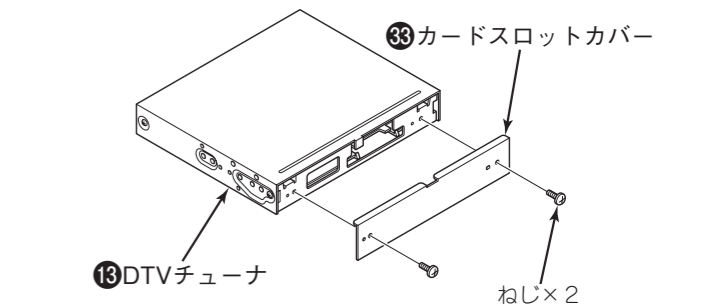
②化粧パネルの外部映像入力コードをDTVチューナ上面にクランプで固定する。



①トランクルームやシート下などに取り付ける場合

●別売の地上デジタルTVチューナ用延長コードが必要です。

①DTVチューナにカードスロットカバー (延長コードキットに付属)を取り付ける。



取付と配線

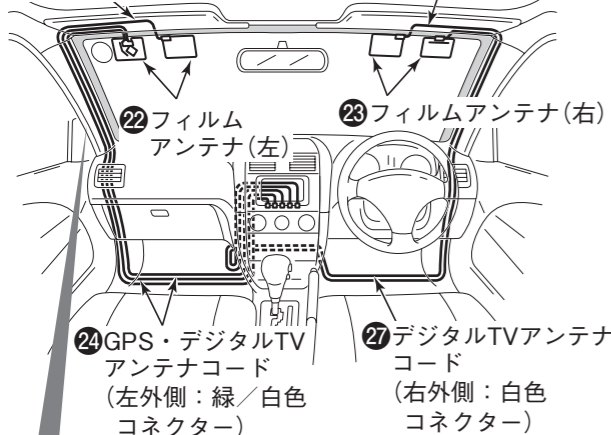
アドバイス

- フィルムアンテナは、車載テレビシステム専用です。それ以外の用途には、使用出来ません。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。
- フィルムアンテナは、必ずフロントガラス上部の指定された位置・寸法内に貼り付けてください。指定の場所以外へは、性能確保できませんので貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナを車のボディ、ピラー等の金属に近づけて貼り付けると受信感度が低下する場合があります。
- フィルムアンテナは、指定通りの貼り付けで性能が確保できるようになっています。左右逆に貼り付けると性能が低下する場合があります。
- 左ハンドル車でもフィルムアンテナ(左)(右)の貼り付け位置は、変わりません。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。
- フィルムアンテナは、貼付位置の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから貼り付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)時は、フィルムアンテナの粘着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めてから貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が落ちる場合があります。
- フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためフィルムアンテナの取り付けはできません。
- フィルムアンテナはワイパー動作やエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。

フィルムアンテナ取付配線概要図

- ①取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
- ②お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

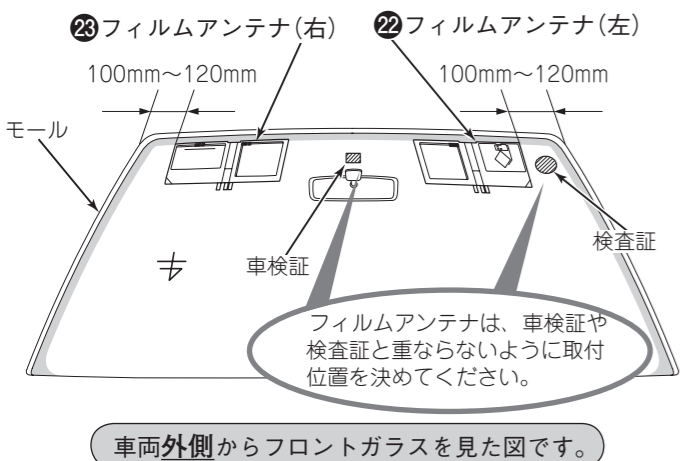
- ②5 デジタルTVアンテナコード (左内側：黒色コネクター)
- ②6 デジタルTVアンテナコード (右内側：黒色コネクター)



コード配線時は、内装トリムを取り外します。(右側も同様)

取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります。)

アドバイス



車両外側からフロントガラスを見た図です。

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

①フロントガラスの外側にフィルムアンテナをあてる。

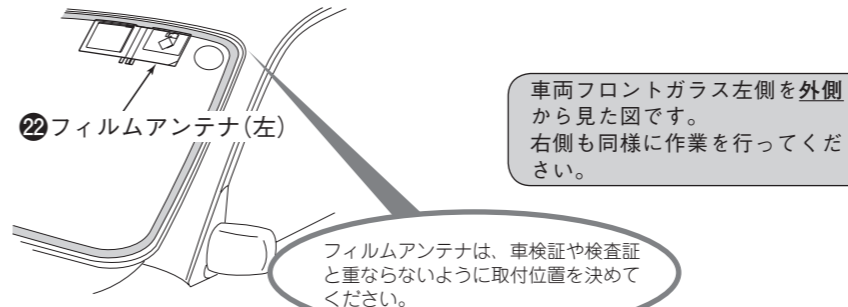
- フィルムアンテナのセパレーターおよびフィルムシートをはがさないでください。
- フィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

②フィルムアンテナの凹部の底辺を車両の※黒セラまたは※黒セラドットの最下端に合わせる。

- ※黒セラ：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
- ※黒セラドット：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット部分。

③フィルムアンテナの左右方向をテープ等でマーキングする。

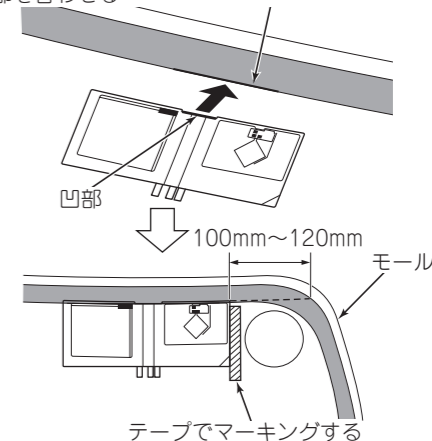
- モールから100mm~120mmの位置にマーキングしてください。
- テープはフロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。



アドバイス

フィルムアンテナの端子ベースを黒セラまたは、黒セラドットの上に貼らないでください。黒セラまたは、黒セラドット部への貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時に、はがれないよう注意してください。

黒セラまたは黒セラドットの最下端にフィルムアンテナ上面の凹部を合わせる



2 フィルムアンテナを仮固定する

①ハクリ用タブ①を利用してフィルムアンテナからセパレーター(小)をはがす。

②フィルムアンテナを取り付ける前にフィルムアンテナ貼付部のフロントガラス面を付属のクリーナーで汚れ、水分、油分などをよく拭きとる。

③貼り付け位置に合わせ、フロントガラス(室内側)に仮固定する。

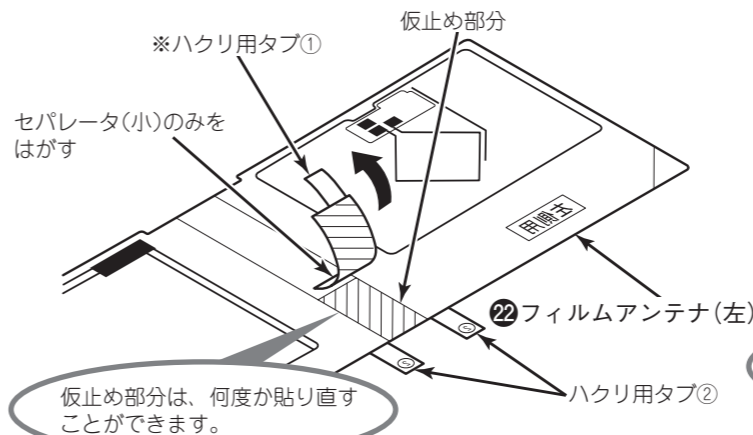
- 仮止め部分を布などでこすって固定してください。



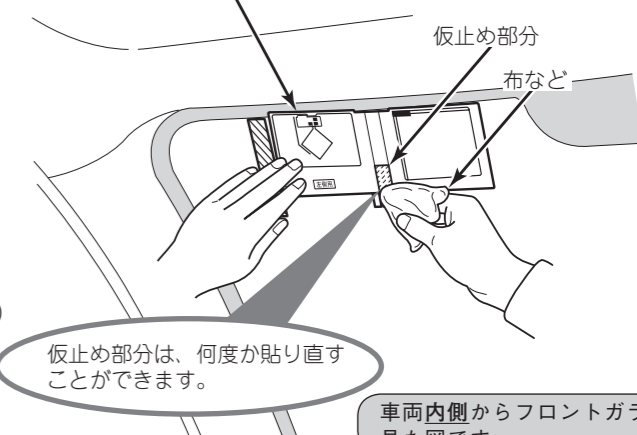
注意

セパレーター(大)：ハクリ用タブ②側は、はがさないでください。フィルムアンテナの仮止めをする前にセパレーター(大)をはがすとフィルムアンテナを正しく貼ることができません。

※ハクリ用タブ①を利用してセパレーター(小)をはがしてください。



②2 フィルムアンテナ(左)



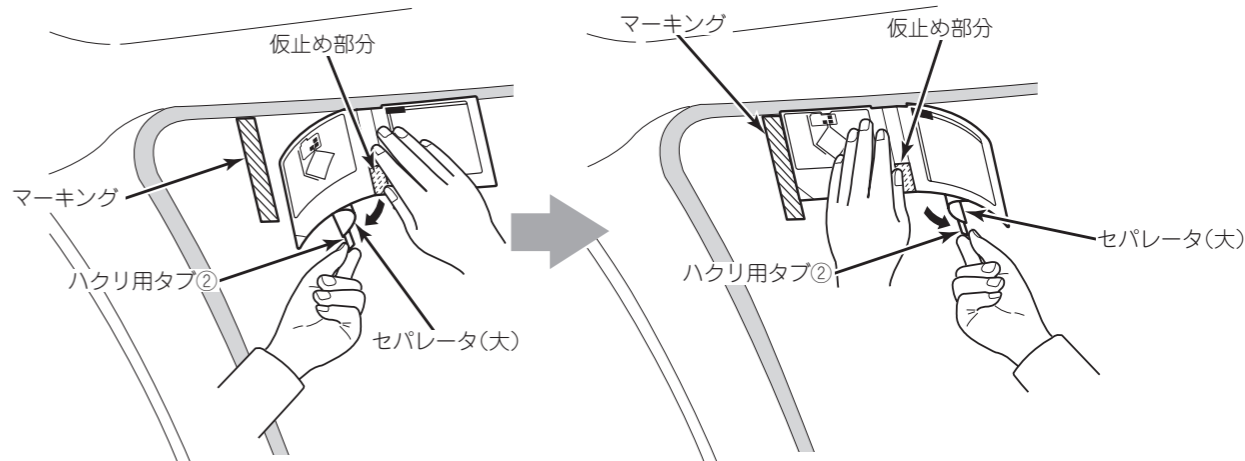
車両内側からフロントガラスを見た図です。

3 フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける

①ハクリ用タブ②を利用してフィルムアンテナからセパレーター(大)をはがす。

- 仮止め部分を手で押さえながらセパレーター(大)をはがしてください。
- アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレーター(大)をゆっくりはがしてください。
- セパレーター(大)を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

②フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。



4 フィルムアンテナを定着させ、フィルムシートをはがす

①フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

- シワや傷がつかないようにフィルムシートの上からアンテナパターン部を数回程度こすってください。

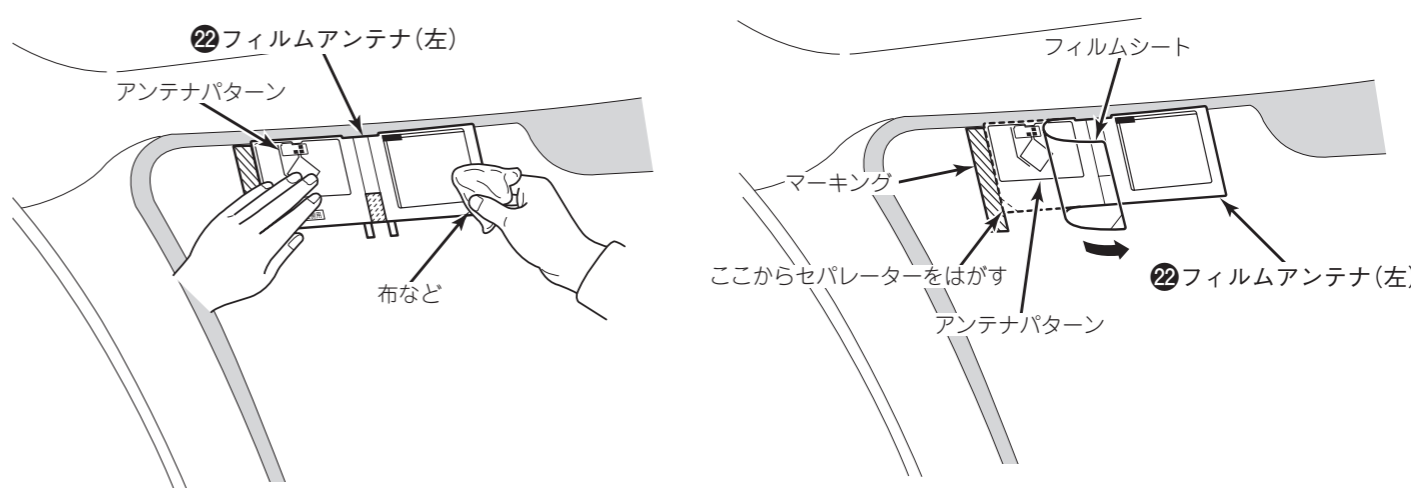


注意

アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因になります。

②フィルムシートを角から180° 折り返すようにゆっくりと矢印方向にはがす。

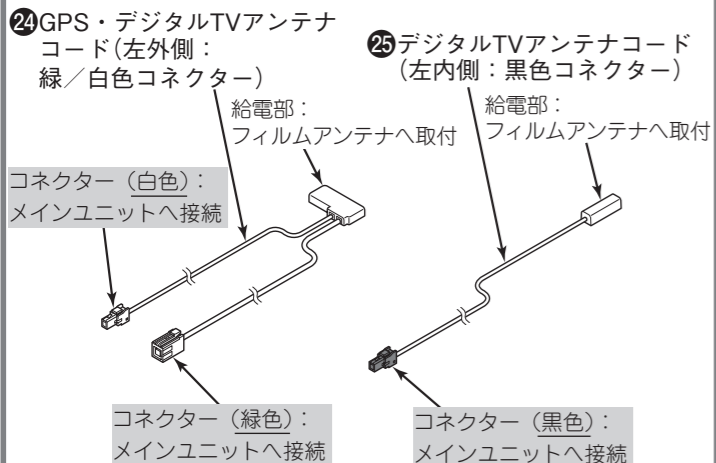
- アンテナパターン部がセパレーター側に残る場合は、手順①からやり直してください。



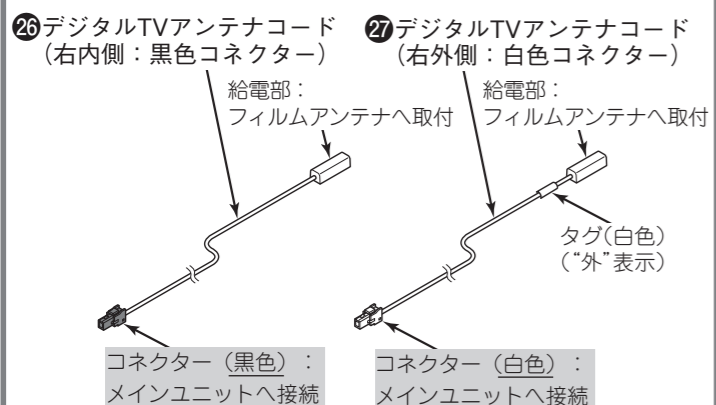
お願い

●GPS・デジタルTVアンテナコードおよびデジタルTVアンテナコードのコネクター色および取付先を確認してください。(25、26は同じコード仕様です)

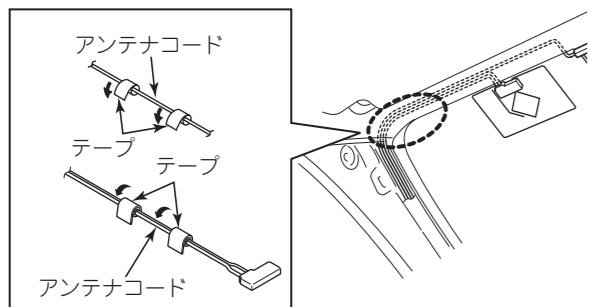
左側



右側

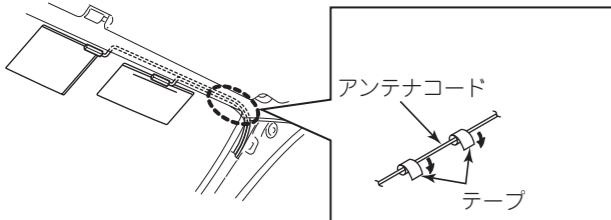


左側

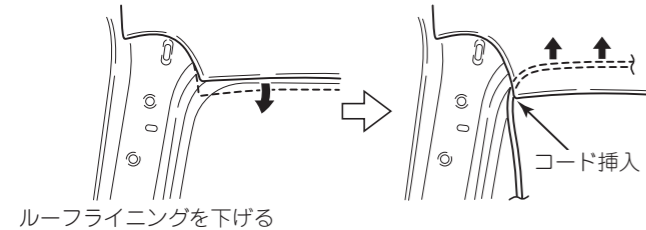


右側

●アンテナコードが、ルーフライニングからはみ出す場合には、テープを巻き付けてルーフライニング内に収めてください。

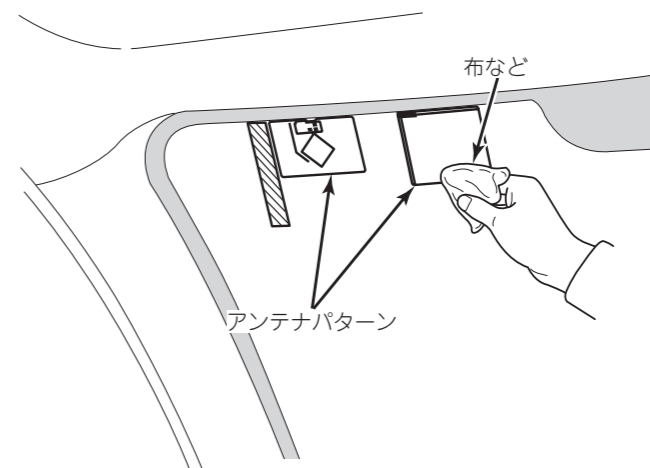


●ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲げられないよう注意してください。



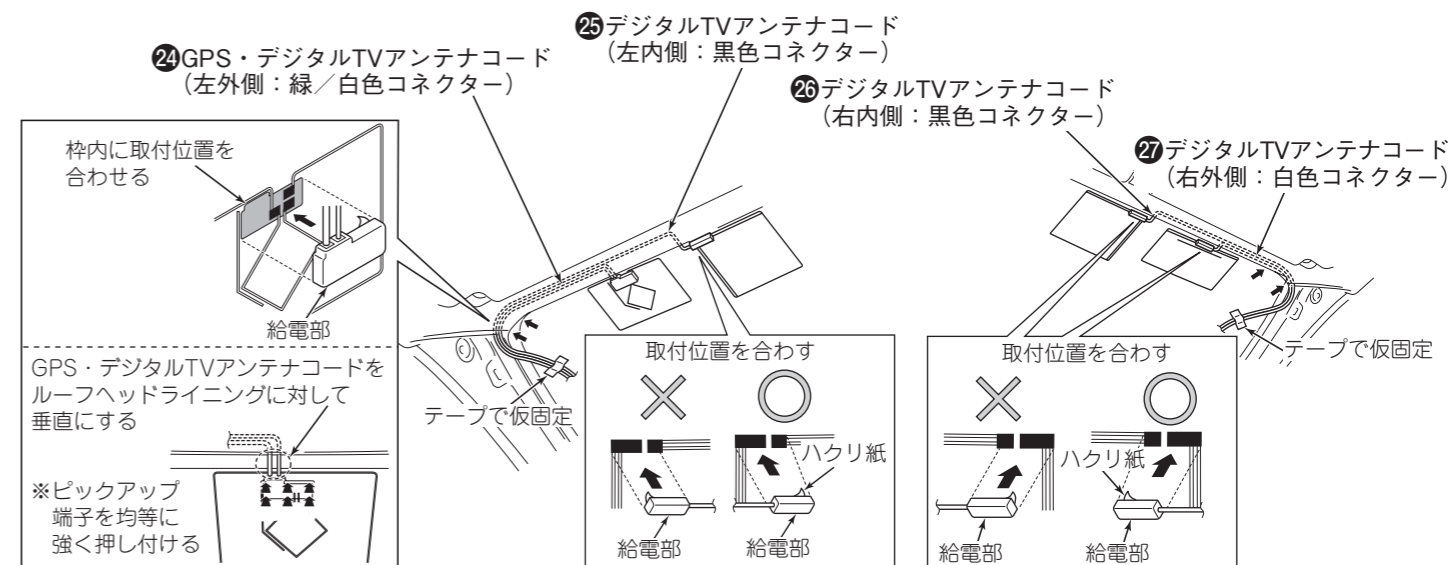
5 アンテナパターン部を定着させる

- アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。
 - アンテナパターン部にシワや傷がつかないように注意して作業を行ってください。
 - マーキングしたテープを取り外してください。



6 GPSアンテナコード、デジタルTVアンテナコードの給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

- GPSアンテナコード、デジタルTVアンテナコードをガラス面にテープで仮固定する。
 - 作業中のコードにかかる負担を軽減させるため、テープで仮固定してください。
- 給電部をフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせて貼り付ける。
- ルーファイニングの端の部分を少し下げ、コードをルーファイニング内に押し込む。

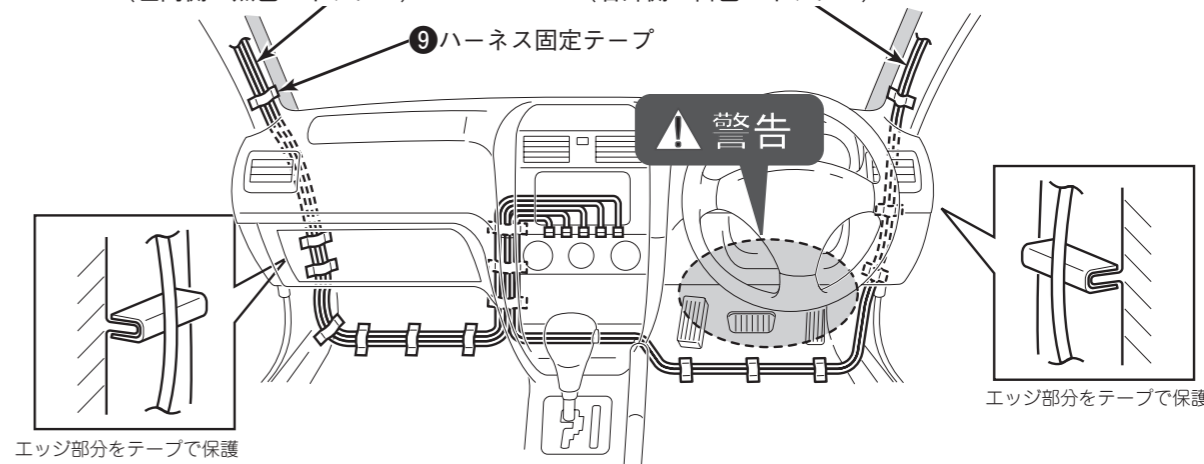


7 GPSアンテナコード、デジタルTVアンテナコードを配線する

- GPSアンテナコード、デジタルTVアンテナコードをテープで固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。
 - 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
 - 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。
 - あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。

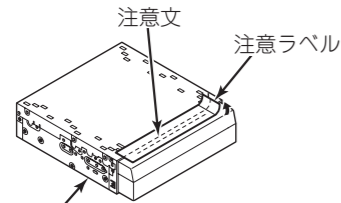
警告 コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

- GPS・デジタルTVアンテナコード (左外側：緑/白色コネクター) & デジタルTVアンテナコード (右内側：黒色コネクター)
- デジタルTVアンテナコード (左内側：黒色コネクター) & デジタルTVアンテナコード (右外側：白色コネクター)



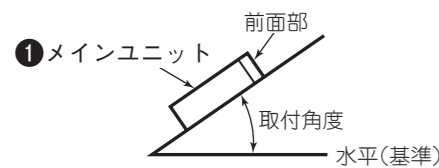
お願い

- メインユニットを取り付ける前に、必ず注意ラベルを取り外してください。修理のためメインユニットを取り外す場合、破損防止のため注意ラベルを必ず貼り付けてください。



①メインユニット

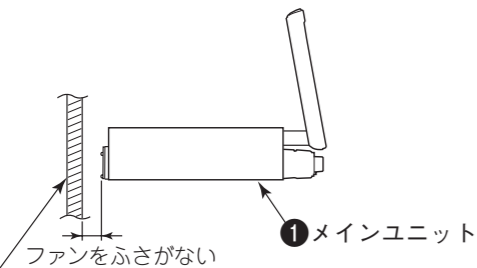
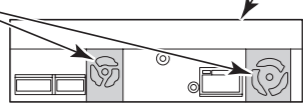
- センターコンソールの形状によっては、シフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置スレーやディスクの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平になるように取り付けてください。



- 放熱用ファンをふさがないでください。本製品は、従来製品と比べ製品の奥行き寸法が長いので放熱を妨げないようメインユニット取り付けの際は、背面のファンを車両ハーネス等でふさがないように注意してください。

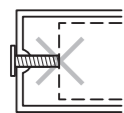
放熱用ファンをふさがないでください

①メインユニットの背面

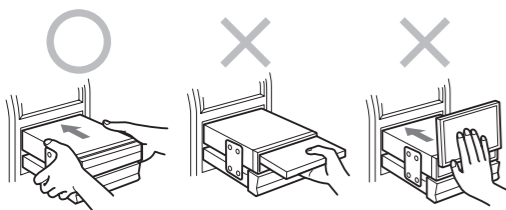


ワイヤーハーネス等の障害物に注意してください

- 必ず付属のねじを使用してください。取付ねじは、必ず付属のねじ(赤色/M4×6)を使用してください。指定以外のねじを使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。



- ディスプレイを手で押さえないでください。車に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。



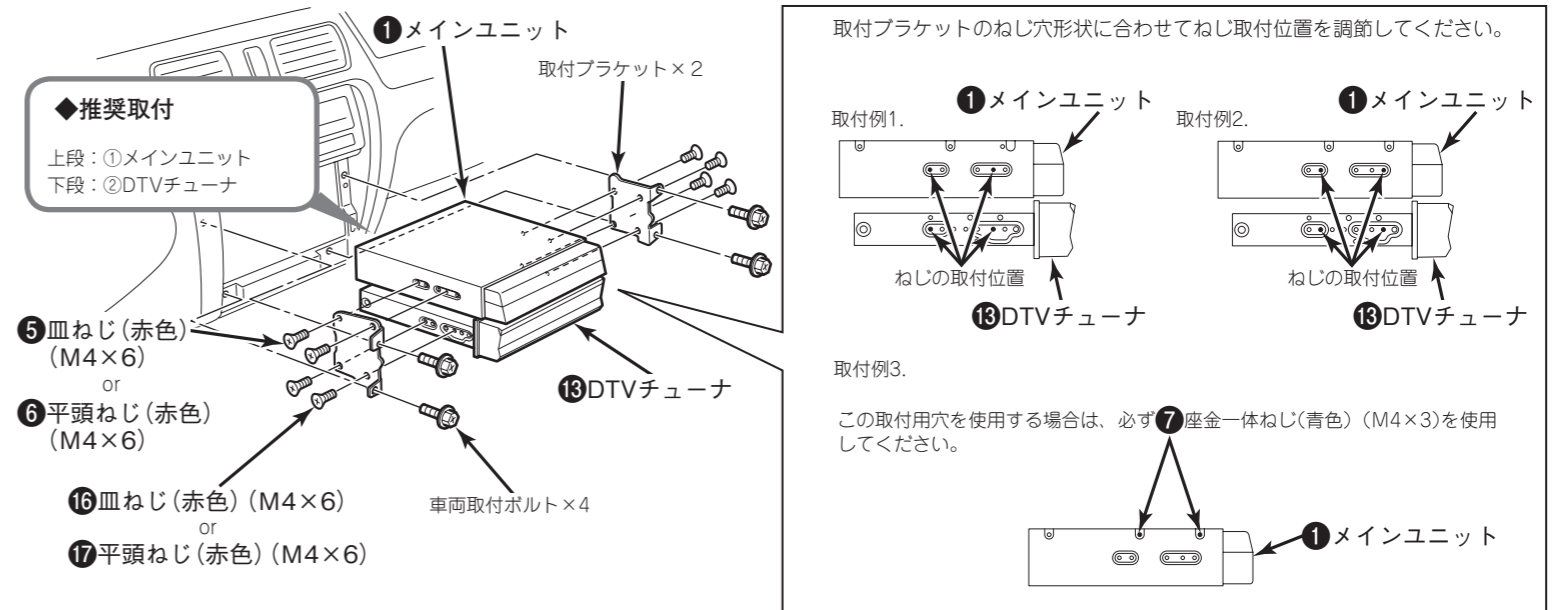
— 国産車の場合(例) —

8 メインユニットとDTVチューナを車に取り付ける

- ①車のオーディオ、小物入れなどを取り外す。
 - オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用する取付ブラケットは、車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ②オーディオ、小物入れなどを取り付けているブラケットを取り外す。
- ③メインユニットとDTVチューナにブラケットを取り付ける。
- ④メインユニットとDTVチューナを車に取り付ける。
 - メインユニットを取り付ける前に各コードを接続してください。

アドバイス

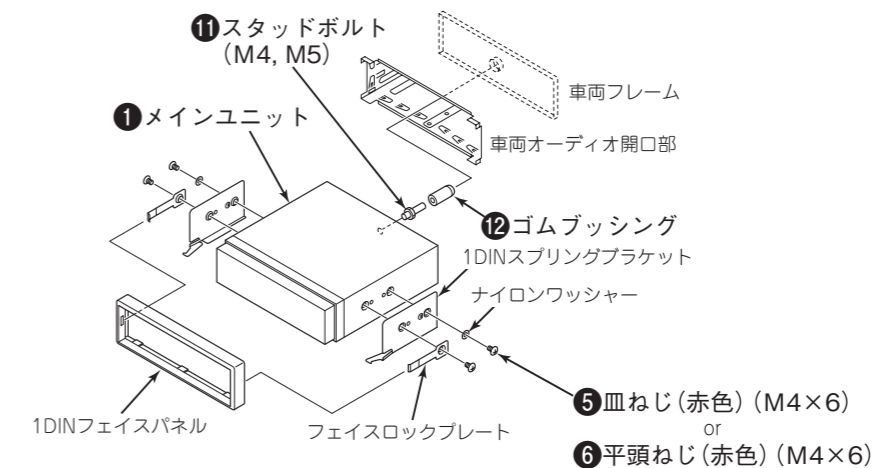
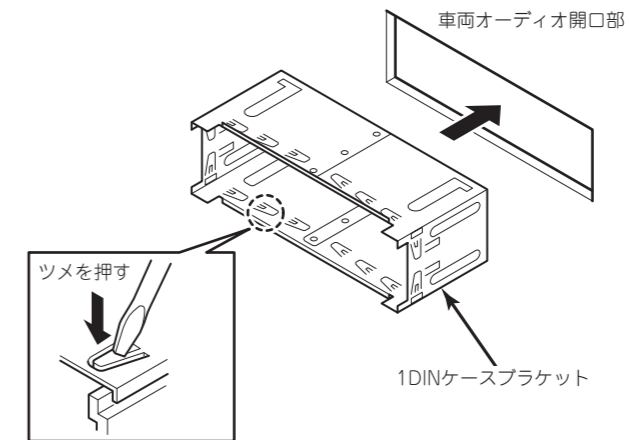
DTVチューナを上段に取り付ける場合は、DTVチューナ前面のVTR入力端子が使用できなくなります。VTR入力を使用する場合は、接続コード③の代わりに別売のVTR-IN用拡張配線コードを使用してください。



— 欧州車の場合(欧州車用1DIN取付キットを使用する場合) —

9 メインユニットを車に取り付ける

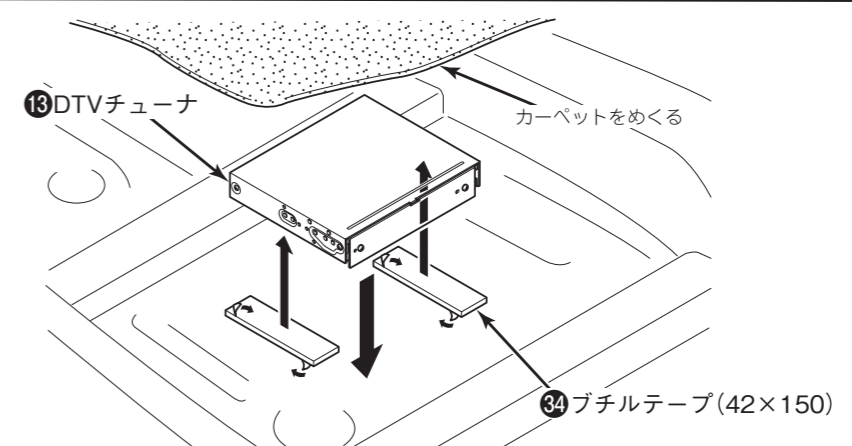
- 別売の欧州車用1DIN取付キットを使用します。
- ①1DINケースブラケット(取付キットに付属)を車両に挿入する。
 - ②1DINケースブラケット(取付キットに付属)のツメを曲げ固定する。
 - 1DINケースブラケット(取付キットに付属)を車両に取り付ける際、変形しない様に注意してください。
 - ③メインユニットにスタッドボルトとゴムブッシングを取り付ける。
 - 必ずメインユニットに付属のスタッドボルトとゴムブッシングを使用してください。
 - ④メインユニットに1DINスプリングブラケット、フェイスロックプレート(取付キットに付属)を取り付ける。
 - メインユニットに付属の皿ねじでスプリングブラケットが、固定できない場合は、取付キットに同梱されているナイロンワッシャーを使用してください。
 - ⑤メインユニットを1DINケースブラケット(取付キットに付属)に左右2箇所が、ロックされるまで挿入する。
 - ⑥1DINフェイスパネル裏側の溝2箇所フェイスロックプレートの先端フック部を差し込み固定する。



— DTVチューナをトランクルームやシート下に取り付ける場合 —

10 DTVチューナを車両フロア面に取り付ける

- 別売の地上デジタルTVチューナ用延長ケーブルが必要です。
- ①ブチルテープをDTVチューナに貼り付ける。
 - ブチルテープは、はさみ等で切って使用してください。
 - ②カーペットをめくり車両の平らな場所にDTVチューナの取付位置を決める。
 - ③取付位置にDTVチューナを取り付ける。



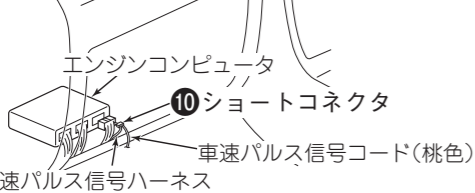
接続のしかた

お願い

- 信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- 必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。

車速パルス信号端子(桃色)

車の車速パルス信号ハーネスに接続してください。



※車速パルス信号端子を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

パーキングブレーキ信号端子(若草色)

車のパーキングブレーキスイッチの+側ハーネスに接続してください。

- 例1)パーキングブレーキがハンドブレーキの場合
- 例2)パーキングブレーキがフットブレーキの場合

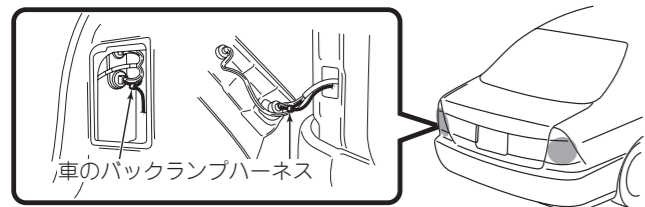


車のパーキングブレーキスイッチ+側ハーネス

リバース信号端子(紫/白色)

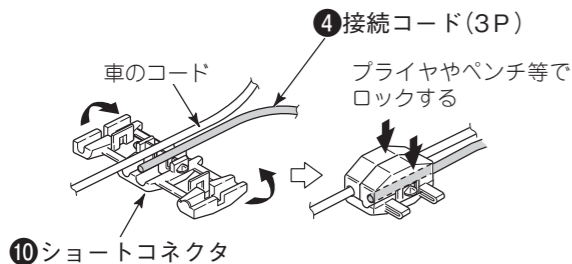
車のバックランプハーネス等(シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス)に接続してください。

- シフトレバーを「R」にした時に6V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。



※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のスレが発生する恐れがあります。

ショートコネクタの使用方法



10 ショートコネクタ

注意

デジタルTVアンテナコードの接続について

DTVチューナにデジタルTVアンテナコードを接続する際、メインユニット上面に貼ってあるシールの指示に合わせて各色のコネクタを接続してください。

指示と異なる色のコネクタを接続した場合、受信感度悪化の原因となります。

指示と異なる色のコネクタを接続した場合、受信感度悪化の原因となります。

注意

デジタルTVアンテナコードの接続について



DTVチューナにデジタルTVアンテナコードを接続する際、DTVチューナ上面に貼ってあるシールの指示に合わせて各色のコネクタを接続してください。指示と異なる色のコネクタを接続した場合、受信感度悪化の原因となります。

映像出力端子(黄色)

別売の後席用モニター等と接続します。
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

車速パルス信号端子(桃色)

パーキングブレーキ信号端子(若草色)

リバース信号端子(紫/白色)

センタースピーカ LINE OUT 接続端子(黒色)

別売のセンタースピーカと接続
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

SUB WOOFER 接続端子(黒色)

別売のサブウーファと接続
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

バックアイカメラ用外部入力端子(4P)

別売のバックアイカメラと接続

iPod用接続端子(14P)

別売のiPod接続ケーブルと接続

VICSユニット用外部入力端子(6P)

別売のVICSユニットと接続

LAN通信端子(13P)

別売のETCユニット等と組み合わせる場合に接続

アドバイス

- 接続しない場合は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。
- DTVチューナを上段に取り付ける場合は、DTVチューナ前面のVTR入力端子が使用できなくなります。VTR入力を使用する場合は、接続コード③の代わりに別売のVTR-IN用拡張配線コードを使用してください。

フロントスピーカ出力端子

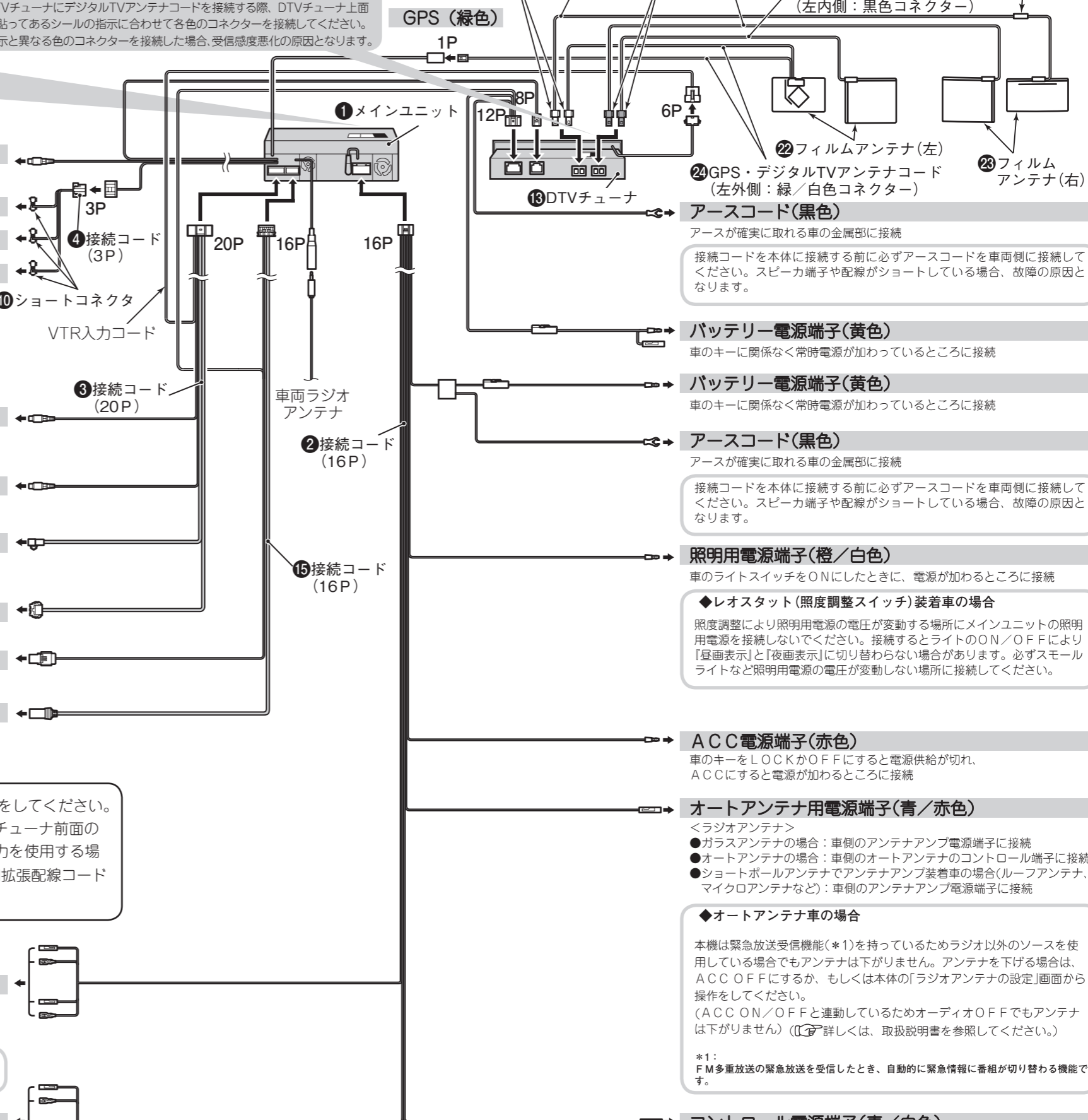
フロントスピーカに接続
白色：左+ 白/黒色：左-
灰色：右+ 灰/黒色：右-

電源/アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

リアスピーカ出力端子

リアスピーカに接続
緑色：左+ 緑/黒色：左-
紫色：右+ 紫/黒色：右-

電源/アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。



アースコード(黒色)

アースが確実に取れる車の金属部に接続

接続コードを本体に接続する前に必ずアースコードを車両側に接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。

バッテリー電源端子(黄色)

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続

バッテリー電源端子(黄色)

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続

アースコード(黒色)

アースが確実に取れる車の金属部に接続

接続コードを本体に接続する前に必ずアースコードを車両側に接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。

照明用電源端子(橙/白色)

車のライトスイッチをONにしたときに、電源が加わるところに接続

◆レオスタット(照度調整スイッチ)装着車の場合

照度調整により照明用電源の電圧が変動する場所にメインユニットの照明用電源を接続しないでください。接続するとライトのON/OFFにより「昼画表示」と「夜画表示」に切り替わらない場合があります。必ずスマールライトなど照明用電源の電圧が変動しない場所に接続してください。

ACC電源端子(赤色)

車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わるところに接続

オートアンテナ用電源端子(青/赤色)

- ＜ラジオアンテナ＞
- ガラスアンテナの場合：車側のアンテナアンプ電源端子に接続
- オートアンテナの場合：車側のオートアンテナのコントロール端子に接続
- ショートポールアンテナでアンテナアンプ装着車の場合(ルーフアンテナ、マイクロアンテナなど)：車側のアンテナアンプ電源端子に接続

◆オートアンテナ車の場合

本機は緊急放送受信機能(*1)を持っているためラジオ以外のソースを使用している場合でもアンテナは下がりません。アンテナを下げる場合は、ACC OFFにするか、もしくは本体の「ラジオアンテナの設定」画面から操作をしてください。(ACC ON/OFFと連動しているためオーディオOFFでもアンテナは下がりません)(詳しくは、取扱説明書を参照してください。)

*1: FM多重放送の緊急放送を受信したとき、自動的に緊急情報に番組が切り替わる機能です。

コントロール電源端子(青/白色)

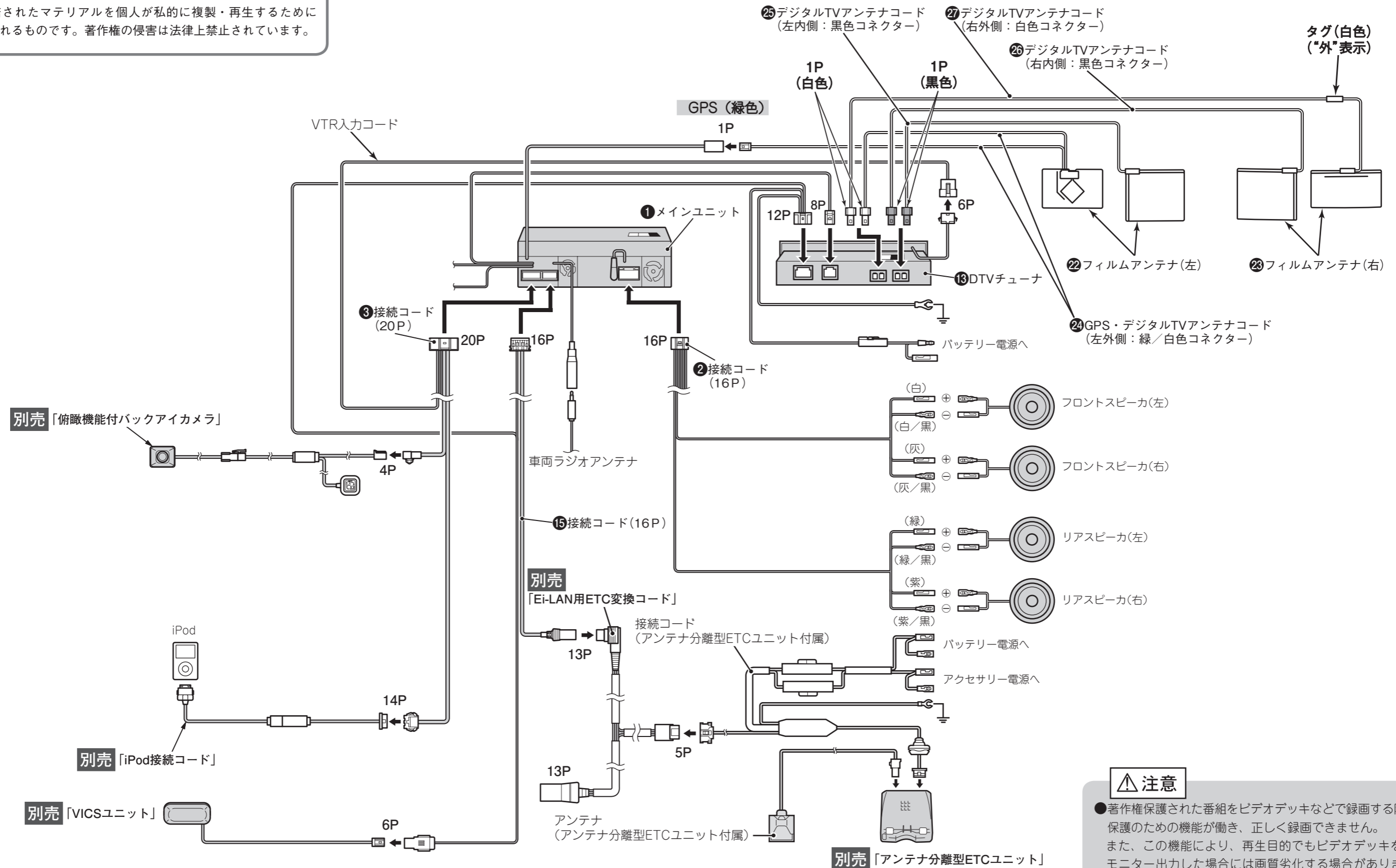
外部アンプ等のコントロール電源端子と接続
※外部アンプ等の接続には、この端子を使うとオーディオOFF状態でもナビの音声案内が可能です。

システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

●車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、及びコードについては、イクリプスのサポートページ(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。

●iPod は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
●iPod および iTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

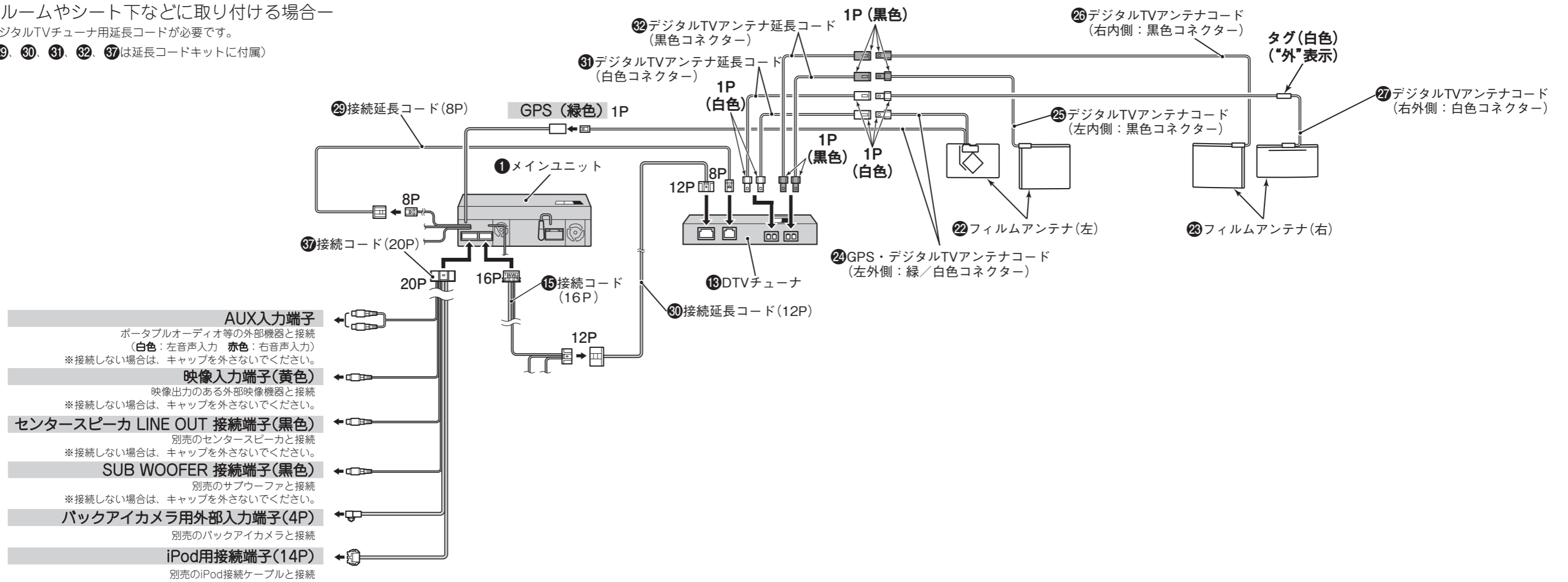


注意

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

ートランクルームやシート下などに取り付ける場合ー

- 別売の地上デジタルTVチューナ用延長コードが必要です。
(接続コード29、30、31、32、37は延長コードキットに付属)



AUX入力端子

ポータブルオーディオ等の外部機器と接続
(白色：左音声入力 赤色：右音声入力)
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

映像入力端子(黄色)

映像出力のある外部映像機器と接続
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

センタースピーカ LINE OUT 接続端子(黒色)

別売のセンタースピーカと接続
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

SUB WOOFER 接続端子(黒色)

別売のサブウーファと接続
※接続しない場合は、キャップを外さないでください。

バックアイカメラ用外部入力端子(4P)

別売のバックアイカメラと接続

iPod用接続端子(14P)

別売のiPod接続ケーブルと接続

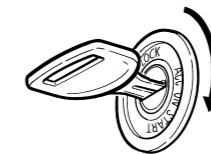
取り付け後の作動確認

お願い

- GPS受信感度**
しばらく経ってもGPS受信感度の表示が変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。
- 車速パルス**
SYSTEM CHECK画面で走行すると走行状態を確認することができます。表示が変わらないときは、車速パルスの接続状態を確認してください。
- パーキング信号**
パーキングブレーキがかかっている場合、表示が“あり”に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が“なし”に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号**
バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が“なし”に、バックギヤにシフトしている場合、表示が“あり”に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。

1 車のエンジンをかけナビゲーション画面を表示させる

- ①ディスプレイをOPENする。
●ナビゲーション画面が表示するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
●シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車のエンジンをかけてください。



2 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

- ① **MENU** ボタンを押し、**INFO** にタッチする。
- ② INFO画面で **ページ切換** にタッチし、画面を切り換える。
- ③ **SYSTEM CHECK** にタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

インフォメーション画面



システムチェック画面

